

株 主 の 皆 様 へ



第101期 中間報告書

2015年1月1日 ▶ 2015年6月30日

JUKI 株式会社

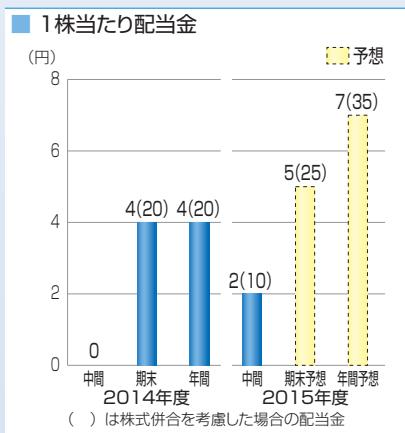
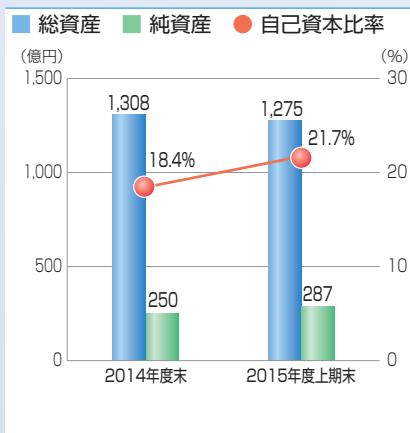
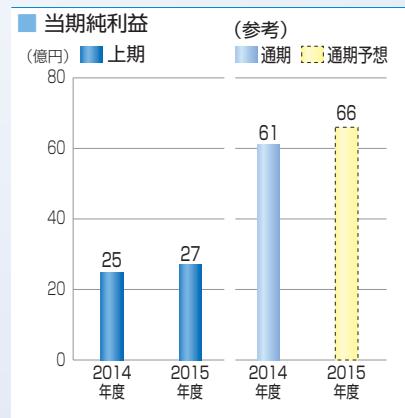
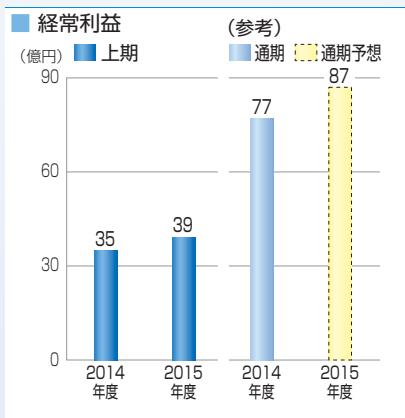
証券コード: 6440

業績のポイント

売上高は、縫製機器事業におけるアジアの新興国市場での売上が前年に引き続き堅調であったことに加え、円安基調で推移したことなどから、前年同期比13%の増収。売上高が増加したことや事業領域が拡大したことなどにより、営業・経常・当期純利益とも増益。中間配当2円/株を実施

売上高 574億円 (前年同期比 67億円の増加)
 経常利益 39億円 (前年同期比 4億円の増加)

当期純利益 27億円 (前年同期比 2億円の増加)
 中間配当 2円/株 (株式併合を考慮した場合10円/株)



株式併合と単元株数変更

株式併合
 普通株式
 5株を1株に併合

単元株数変更
 1,000株を
 100株に変更

※ 効力発生日：2015年7月1日

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第101期 中間報告書（2015年1月1日から2015年6月30日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当期においては、縫製機器事業におけるアジアの新興国市場での売上が前年に引き続き堅調であったことに加え、円安基調で推移したことなどから連結売上高は対前年同期比13.1%増の573億6千9百万円となりました。

利益面につきましては、売上高が増加したことや事業領域が拡大したことなどで連結営業利益は42億2千7百万円、連結経常利益は39億4千3百万円、連結当期純利益は27億1千9百万円と前年同期を上回る実績となりました。

この実績を踏まえ、株主様への利益還元の実質をはかるため、1株につき2円（株式併合を考慮した場合は10円）の中間配当を実施いたしました。

なお、期末配当予想は1株につき5円（株式併合を考慮した場合は25円）、年間配当予想は1株につき7円（株式併合を考慮した場合は35円）としております。

当社は、「21世紀を生き抜くグローバルなものづくり企業」をビジョンとした2016年度までの中期経営計画を策定しておりますが、これは新しいお客様の開拓や利益率の高い事業領域の拡大に加え、先端開発投資や生産工場のスマート化などの無駄がなく生産性の高い経営体制の構築等を基本方針としております。これにより、「変化に対応し強い事業を創り出していく企業」の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役

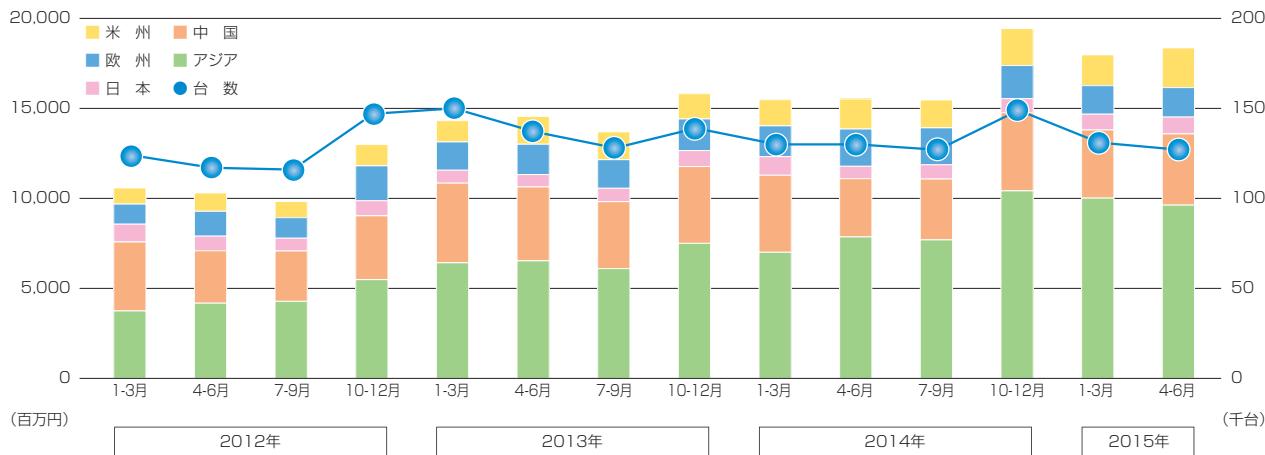
清原 晃

縫製機器事業

アパレル縫製産業においては、ベトナム・バングラデシュを中心としたアジア新興国地域や中南米・アフリカなどでの売上が拡大したこと、商品別では自動車シート・スポー

ツシューズなどのノンアパレル向けやニット製品向けの売上が増加したことなどから、縫製機器事業全体の売上高は429億4百万円(対前年同期比15.5%増)となりました。

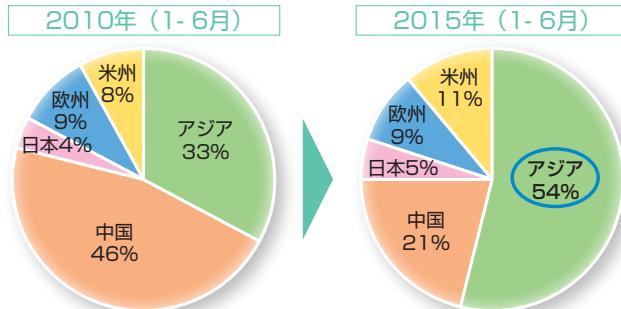
● 工業用ミシン製品の地域別売上高推移



● 売上高(工業用ミシン製品):前年同期比較(単位:億円)

	2014年 (1-6月)	2015年 (1-6月)	増減額	増減率
アジア	149	196	47	31.5%
中国	75	78	3	4.0%
日本	17	18	1	5.9%
欧州	38	32	△6	△15.8%
米州	31	39	8	25.8%
合計	310	363	53	17.1%

● 売上高構成比率:2010年(5年前)との比較

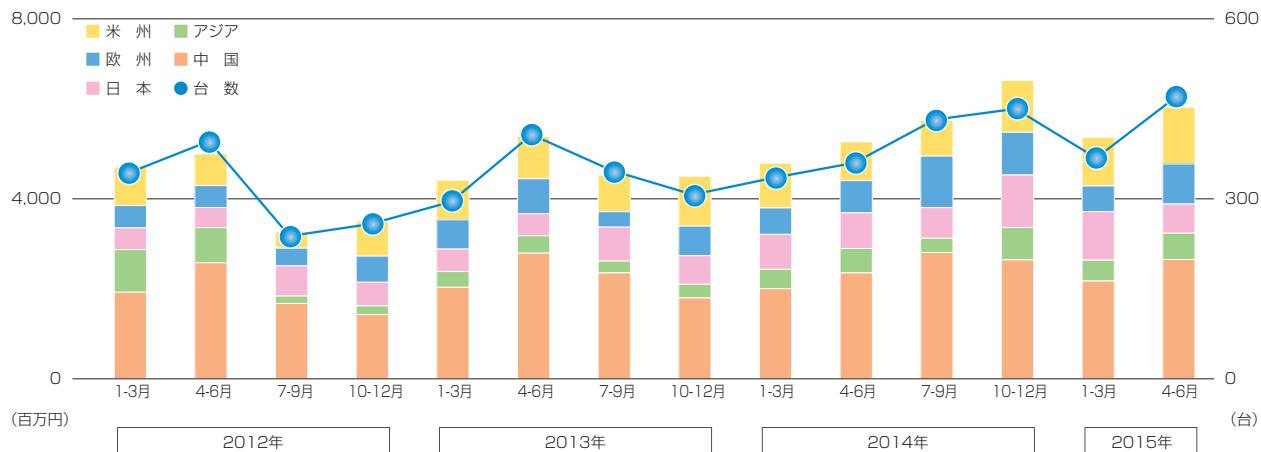


産業装置事業

最大の市場である中国での売上は伸び悩んだものの欧米での売上が拡大したこと、商品別では新製品のマウンタや仕入商品の売上が増加してきていることなどから、

産業装置事業全体の売上高は114億3百万円(対前年同期比13.3%増)となりました。

● 地域別売上高推移



● 売上高：前年同期比較

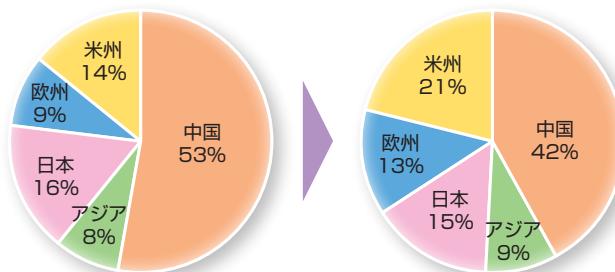
(単位：億円)

	2014年 (1-6月)	2015年 (1-6月)	増減額	増減率
中国	44	48	4	9.1%
アジア	10	11	1	10.0%
日本	16	17	1	6.3%
欧州	13	15	2	15.4%
米州	18	23	5	27.8%
合計	101	114	13	13.3%

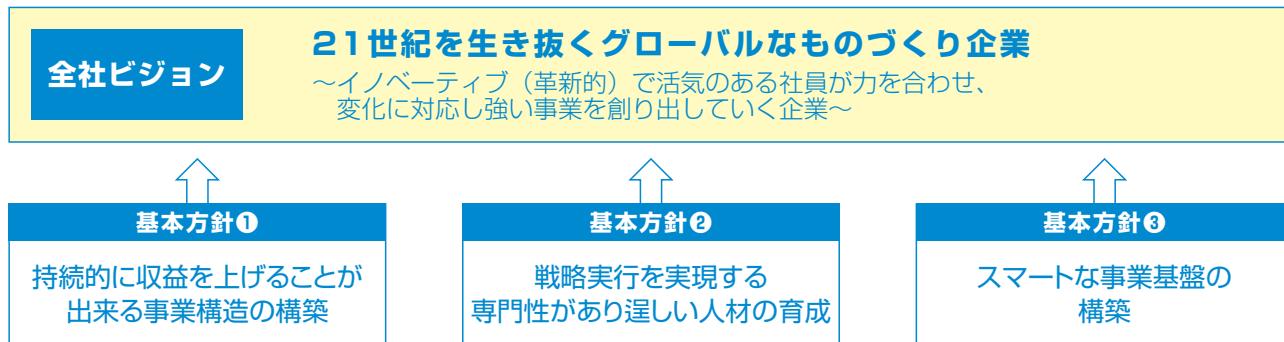
● 売上高構成比率：2010年（5年前）との比較

2010年（1-6月）

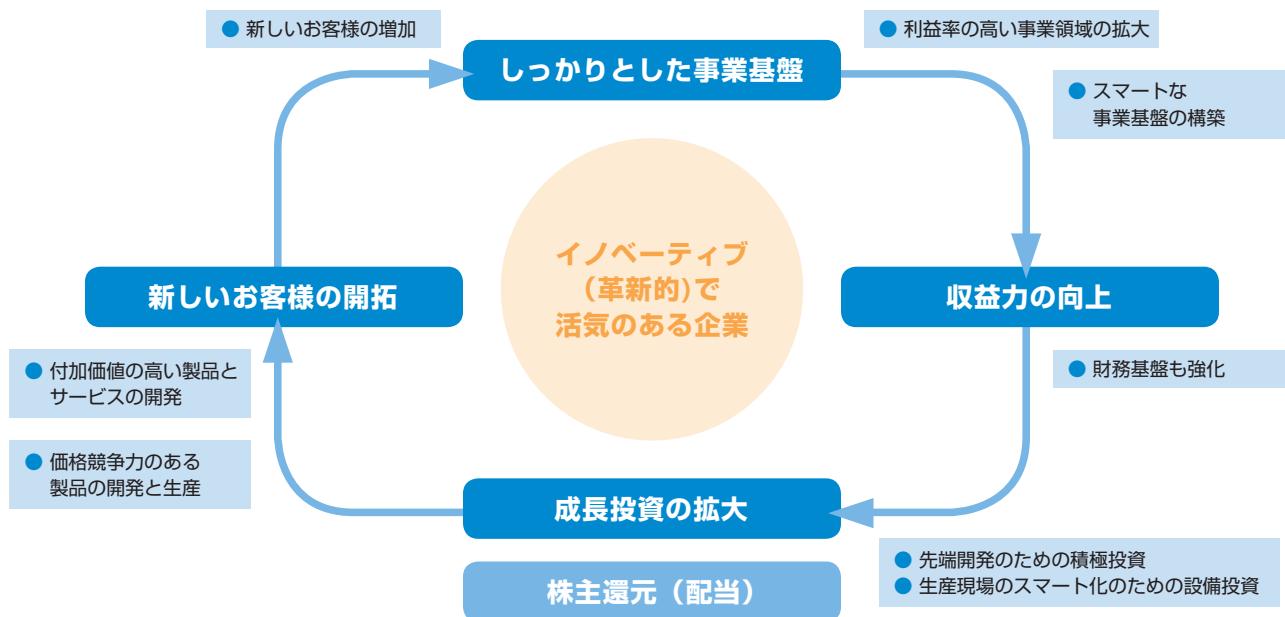
2015年（1-6月）



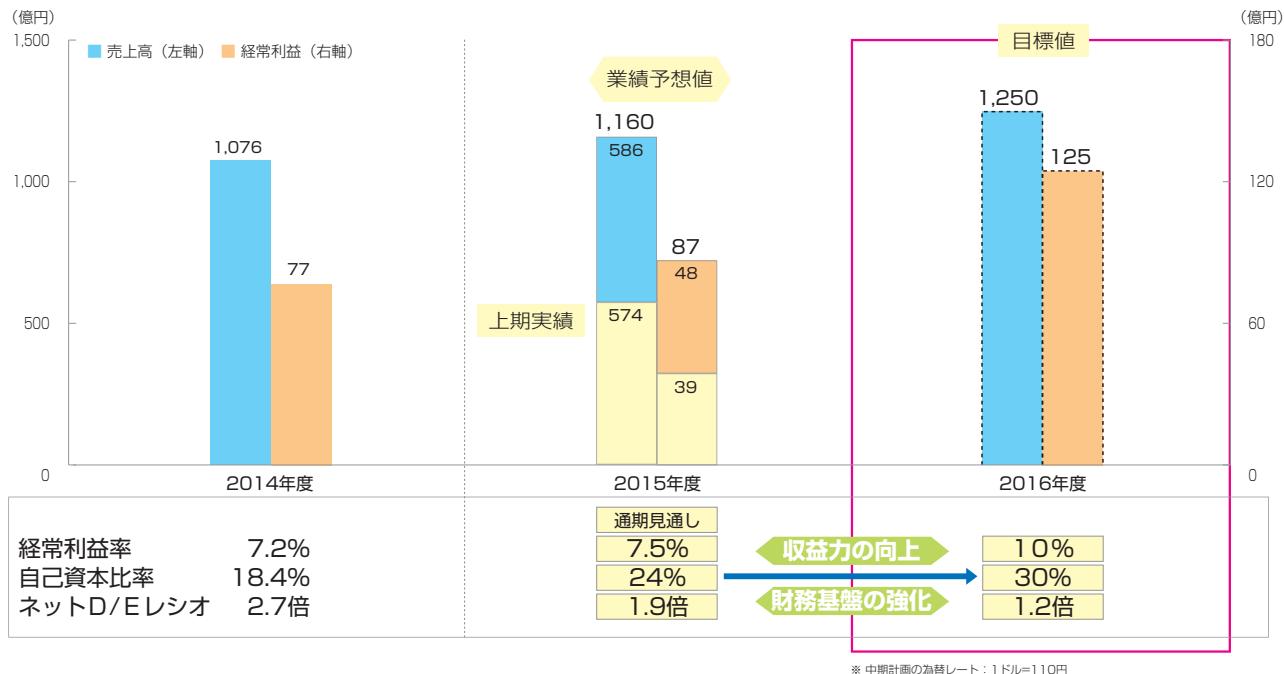
1. ビジョンと基本方針



2. JUKIの成長サイクル



3. 中期経営計画の取り組み状況



4. 世界経済と事業環境

世界経済

- ギリシャ不安、中国経済の減速リスクはあるものの、世界経済は総じて安定した局面
- グローバルの競争環境は一層厳しさを増している

業績を伸展できる好機は引き続き継続

事業環境

縫製工場

電子工場

「製造業のスマート化」が急速に進展

▶ お客様は、「スマート&エコファクトリー（高い生産性と環境対応に優れた工場）」実現への動きを加速

アジア新興国でのニーズが顕著

1. 工業用ミシンの製品別戦略、地域戦略

製品別戦略

拡大事業領域での販売拡大

- ノンアパレル**
 - 自動車 → 特注ニーズへの対応
 - スポーツシューズ
 - その他（カバン、家具市場等）
- ニット**
 - ラインソリューションによる販売拡大
 - 中南米の販売拡大
- 自動機**
 - 大手ユーザーの特注対応機種を水平展開
- パーツ**
 - アジアでのストックポイントの拡大

地域戦略

- 産地移動への的確な対応 → 東南アジア、南アジアでの販売拡大
- “新たな新興国”での販売拡大 → 中近東、アフリカ、中南米の販売網を整備

ラインソリューション提案の拡大と新製品群

ミシンの 単体販売

ラインソリューション提案

お客様の省力化、自動化ニーズに対応したスマートソリューション提案

自動機など生産性の高い工業用ミシンを使用することにより、生産性が大幅向上

中国、ベトナム、インド、インドネシアなどの大手ユーザーへのニーズ対応力を強化

新製品群



LU-2800シリーズ



LK-1903BB



LBH-1790Aシリーズ



DDL-900A

2. 家庭用ミシンの製品別戦略、地域戦略

製品別戦略

キルト分野のヘビーユーザーへの販売強化と新製品投入

- 家庭用ミシン**
 - 新製品の投入により販売拡大
 - キルトユーザー向け家庭用ミシンを市場投入
 - 手芸量販店、路面店等での販売強化
- 小型ロック**
 - 新製品の投入により販売拡大
 - キルトユーザー向けロックミシンを市場投入
- 職業用・キルト**
 - キルトミシンQVPをシリーズ化し、ヘビーユーザーへの販売拡大

地域戦略

- 先進国（日、米、欧）で、家庭用ミシン、キルトミシンなど高付加価値製品を中心に販売拡大
- 新興国の販売網を整備

新製品群

家庭用キルト専用ロングアームミシン
TL-2200QVP



フレームタイプ（立ちタイプ）



テーブルタイプ（座りタイプ）

Gシリーズ（バックライト仕様）
HZL-G220/G120



➡ 下期はさらに10シリーズを市場投入予定

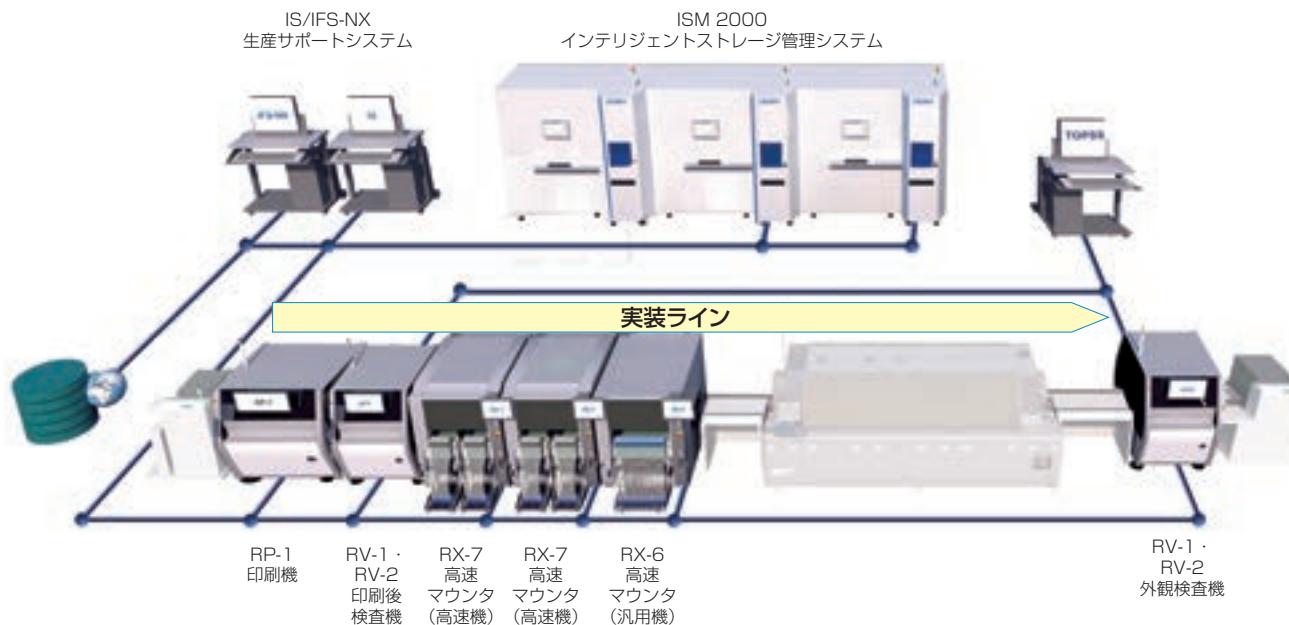
3. 産業装置の製品別戦略

製品別戦略

拡大事業領域での販売拡大

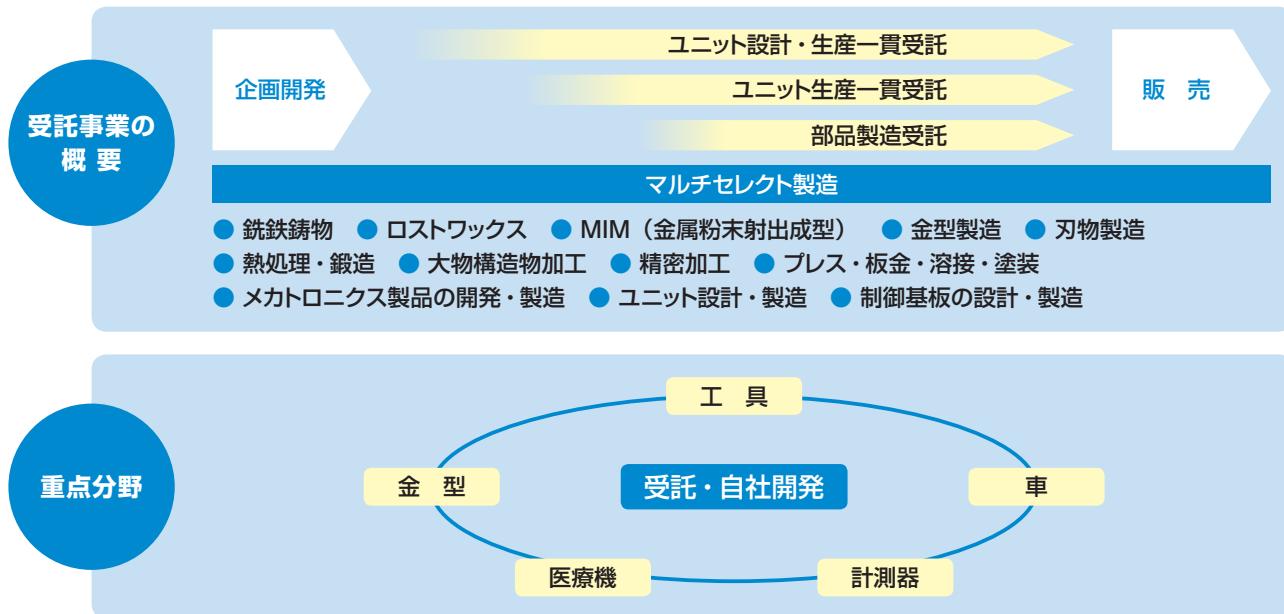
- Rシリーズ（新製品）** ● 新製品群（RX-7（高速機）、RX-6（汎用機）、印刷機、検査機）の販売拡大
- 省力化設備** ● 販売網の拡充およびパートナー増強等により販売拡大
- 仕入商品** ● ストレージシステム（ISMシリーズ）の販売拡大
- LED** ● JX-350（新製品）による販売拡大
- パーツ** ● パーツ供給ルートの効率化

ラインソリューション提案例（標準ライン）



▶ 仕入商品も含めたラインソリューション提案により、新規顧客の開拓を強化

4. グループ事業の受託事業と重点分野



第三の事業セグメントとして、国内外製造グループ会社の受託加工事業を拡大

■ グループ事業関連の製造グループ会社（国内8社、海外1社）

■ JUKI 秋田精密株式会社
(プレス・板金・溶接・塗装)

■ JUKI 吉野工業株式会社
(大物構造物加工、精密加工)

■ JUKI 電子工業株式会社
(メカトロニクス製品の開発・製造、制御基板の設計・製造)

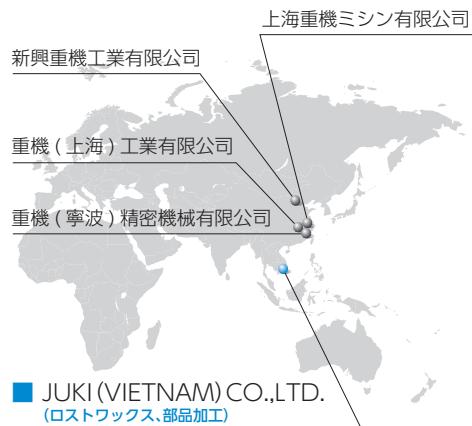
■ 株式会社鈴民精密工業所
(刃物製造、熱処理・鍛造)

■ JUKI 松江株式会社
(ユニット設計・製造)

■ JUKI 会津株式会社
(ロストワックス、MIM)

■ JUKI 金属株式会社
(銑鉄鋳物)

■ JUKI 広島株式会社
(プレス、金型製造)



中間連結財務諸表（要旨）

中間連結貸借対照表

(百万円)

科目	前期 2014年12月31日現在	当第2四半期 2015年6月30日現在	増減
資産の部			
流動資産	97,789	94,105	△ 3,684
固定資産	32,961	33,419	457
資産合計	130,751	127,524	△ 3,226
負債の部			
流動負債	77,101	69,530	△ 7,571
固定負債	28,639	29,264	625
負債合計	105,741	98,794	△ 6,946
純資産の部			
株主資本	23,831	27,039	3,208
その他の包括利益累計額	163	675	511
少数株主持分	1,015	1,014	△ 0
純資産合計	25,010	28,729	3,719
負債純資産合計	130,751	127,524	△ 3,226

中間連結損益計算書

(百万円)

科目	前第2四半期 2014年1月1日から 2014年6月30日まで	当第2四半期 2015年1月1日から 2015年6月30日まで	増減
売上高	50,734	57,369	6,635
売上原価	35,111	39,273	4,161
売上総利益	15,622	18,096	2,474
販売費及び一般管理費	11,940	13,869	1,928
営業利益	3,681	4,227	545
営業外収益	613	504	△ 108
営業外費用	784	789	4
経常利益	3,509	3,943	433
特別利益	15	9	△ 6
特別損失	61	14	△ 46
税金等調整前四半期純利益	3,463	3,937	473
法人税等	944	1,227	283
少数株主損益調整前四半期純利益	2,519	2,710	190
少数株主損失(△)	△ 49	△ 9	39
四半期純利益	2,568	2,719	150

会社情報 (2015年6月30日現在)

■ 会社概要

商号	JUKI株式会社
創立	1938年12月15日
資本金	180億4,471万円
本社	東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
決算期	12月
営業品目	工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他
従業員数	6,272名(連結)
連結子会社数	31社

■ 株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 400,000,000株
- 発行済株式総数…………… 149,370,899株
- 株主数…………… 14,230名

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
TEL: 042-357-2211

<http://www.juki.co.jp>

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本証券金融株式会社	10,637	7.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,764	4.53
株式会社みずほ銀行	4,690	3.14
大田 宣明	3,700	2.48
日本生命保険相互会社	3,660	2.45

■ 所有者別株式分布状況

